

V54b 岡山ファイバー多天体分光器の改良と観測テーマ

三戸 洋之、矢動丸 泰、中田 好一、唐牛 宏

我々はこれまで、岡山ファイバー多天体分光器を本格的な観測装置に完成させることを目標に置き開発を行ってきた。そして、その具体的な方法として、ファイバークラウドを焦点面上に配置する部分の『精度』と『速度』の向上に重点を置いた。その結果、配置精度は $0.7\text{arcsec}(30\ \mu\text{m})$ となり、前回97年8月の観測で、改良前と比較してクランプに入射する天体からの光量が15から30倍に増加したことを確認した。さらに、配置速度の向上により、一晩(8時間)で100天体の観測を行う性能を持たせることが可能となった。

今回の発表では、装置の『精度』と『速度』の向上を実現させた具体的な方法を示す。また、今後、本装置を使って行う観測テーマについても発表する。